

平成 30 年度 決算公告

さくら少額短期保険株式会社

代表取締役 清水 芳彦

平成 30 年度(平成 31 年 3 月 31 日現在)貸借対照表

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
<b>現金及び預貯金</b>	<b>4,598,880</b>	<b>保険契約準備金</b>	<b>2,174,720</b>
預貯金	4,598,880	支払備金	91,860
<b>有形固定資産</b>	<b>282</b>	責任準備金	2,082,859
その他の有形固定資産	282	代理店借	<b>35,445</b>
<b>無形固定資産</b>	<b>44,945</b>	再保険借	<b>3,575</b>
ソフトウェア	44,945	<b>その他負債</b>	<b>491,082</b>
その他の無形固定資産	0	未払法人税等	43,485
<b>再保険貸</b>	<b>3,284</b>	未払金	431,677
<b>その他資産</b>	<b>147,744</b>	未払費用	1,371
未収金	146,977	預り金	5,858
前払費用	616	仮受金	8,690
仮払金	22	<b>その他の引当金</b>	<b>12,699</b>
その他の資産	128	<b>負債の部 合計</b>	<b>2,717,524</b>
<b>供託金</b>	<b>145,000</b>	(純資産の部)	
		<b>資本金</b>	<b>225,000</b>
		<b>資本剰余金</b>	<b>50,000</b>
		資本準備金	50,000
		<b>利益剰余金</b>	<b>1,947,614</b>
		利益準備金	6,250
		その他利益剰余金	1,941,364
		繰越利益剰余金	1,941,364
		<b>株主資本合計</b>	<b>2,222,614</b>
		<b>純資産の部 合計</b>	<b>2,222,614</b>
<b>資 産 の 部 合 計</b>	<b>4,940,138</b>	<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>4,940,138</b>

## 貸借対照表の注記

### 1. 重要な会計方針に関する事項

#### (1) 固定資産の減価償却の方法

##### ①有形固定資産（リース資産を除く）

定額法を採用しております。

##### ②無形固定資産（リース資産を除く）

定額法を採用しております。なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における使用可能期間(5年)に基づいて償却しております。

#### (2) 引当金の計上方法

##### 役員賞与引当金

役員の賞与支給に充てるため、支給見込み額に基づき、引当金を計上しております。

##### 賞与引当金

従業員の賞与支給に充てるため、支給見込み額に基づき、引当金を計上しております。

#### (3) その他の計算書類作成のため基本となる重要な事項

##### ①消費税の会計処理方法

消費税等（消費税及び地方消費税、以下同じ。）の会計処理方法は税抜方式によっております。

なお、資産に係る控除対象外消費税は発生事業年度の期間費用としております。

##### ②連結納税制度の適用

連結納税制度を適用しております。

#### (4) 有形固定資産の減価償却累計額 1,689千円

#### (5) 関係会社の株式又は出資金の額

株式会社 光通信 出資金 275,000千円

#### (6) 以下に掲げる金額

##### ①保険業法施行規則第211条の52において準用する同規則第73条第3項において準用する同規則第71条

第1項に規定する再保険を付した部分に相当する支払備金（以下「出再支払備金」という。）の金額  
出再支払備金は、1,284千円です。

##### ②保険業法施行規則第211条の52において準用する同規則第71条第1項に規定する再保険を付した部分に

相当する責任準備金（以下「出再責任準備金」という。）の金額  
出再責任準備金は、1,588千円です。

#### (7) 保険業法第113条繰延資産への繰入額及び償却の計算は、定款の規定に基づき行っております。

なお、平成28年度末において償却を完了しております。

#### (8) 1株当たりの純資産額は、404,111円64銭です。

平成 30 年度 平成 30 年 4 月 1 日から  
平成 31 年 3 月 31 日まで 損益計算書

(単位：千円)

科 目	金 額
<b>経常収益</b>	<b>3,482,726</b>
<b>保険料等収入</b>	<b>3,482,726</b>
保険料	3,470,696
再保険収入	12,029
回収再保険金	6,790
再保険手数料	5,239
<b>経常費用</b>	<b>1,922,548</b>
<b>保険金等支払金</b>	<b>678,729</b>
保険金等	667,286
解約返戻金等	52
再保険料	11,390
<b>責任準備金等繰入額</b>	<b>308,688</b>
支払備金繰入額	40,781
責任準備金繰入額	267,907
<b>事業費</b>	<b>934,888</b>
営業費及び一般管理費	854,046
税金	67,940
減価償却費	12,902
<b>その他経常費用</b>	<b>242</b>
<b>経常利益</b>	<b>1,560,177</b>
<b>税引前当期純利益</b>	<b>1,560,177</b>
法人税及び住民税	440,018
法人税等合計	440,018
<b>当期純利益</b>	<b>1,120,159</b>

## 損益計算書の注記

### 1. 収益及び費用に関する金額

#### (1) 正味収入保険料 ( 保険料から再保険料を控除した金額 )

収入保険料	3,470,696 千円
解約返戻金	52 千円
-) 支払再保険料	11,390 千円
正味収入保険料	3,459,253 千円

#### (2) 正味支払保険金 ( 保険金等から回収再保険金を控除した金額 )

支払保険金	667,286 千円
-) 回収再保険金	6,790 千円
正味支払保険金	660,496 千円

(3) 支払備金繰入額の計算上、差し引かれた出再支払備金繰入額 3,160 千円

(4) 責任準備金繰入額の計算上、差し引かれた出再責任準備金繰入額 170 千円

(5) 利息収入の資産源泉別内訳 預貯金利息 0 円

(6) 1 株当たりの当期純利益の額 203,665 円 38 銭

### 2. 以上のほか、損益の状態を正確に判断するために必要な事項

該当事項はありません。